

学校長様
研究主任様
教職員様

京都市立朱雀第七小学校
校長 鵜飼洋子



京都市立朱雀第七小学校

自主研究発表会のご案内（第2次案内）

自分の思いや考えをもち、

進んで表現することができる子どもの育成

～読みから表現へつながる言語活動の工夫～

寒冷の候、皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、国語科の授業づくりに焦点を当て、校内研究に取り組み5年目を迎えました。昨年度より、新学習指導要領の全面実施を見据え、育てたい資質・能力を明らかにしながら、「主体的・対話的な深い学び」をめざし、研究を進めています。

つきましては、下記のように研究発表会を行います。ぜひ、多数の皆様にご参会いただきたく、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成31年 1月22日（火） 13:45～17:00

2. 会 場 京都市立朱雀第七小学校

〒604-8841 京都市中京区壬生東土居ノ内町20

TEL (075) 311-0307

FAX (075) 311-4697

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai7-s/>

E-mail suzakudai7-s@edu.city.kyoto.jp



3. 時 程

13:15 13:45

14:30 14:40

15:40 15:50

17:00

受付	公開授業	移動	低・中・高 学年部会	移動	全体会（講演）
----	------	----	---------------	----	---------

※体育館にて、各学年の今までの取組の成果物を展示いたします。

公開授業の前や、全体会の前後にぜひご覧ください。



4. 公開授業 全学年、国語科の授業を公開いたします。

学年・組	単元名・教材名	授業者
1年 2組	<p>「おはなし大すきハウス」で 大好きをつたえあおう 「だってだってのおばあさん」他</p> <p>「おはなし大すきハウス」でお話の大好きなところを伝えるために、お話の内容を自分の体験と結び付けて感想をもつことができることをねらいます。そこで、大好きなところの根拠となる語や文をはっきりさせ、そのわけを考える際に、登場人物の言動から想像を膨らますことができるように工夫します。本時では、自分の好きなところや思ったことを「おはなし大すきハウス」を使って伝え合いながら、お話のおもしろさを交流できるようにします。</p>	甲谷 洋子
2年 1組	<p>お話を想像しながら読み、 心にじいんときたおすすめの本をしょうかいしよう 「スーホの白い馬」他 心にひびくお話</p> <p>「心ふれあいカード」でおすすめの本の強く心に残ったところを紹介するために、紹介したい場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像しながら読み、自分の経験と結び付けて感想をまとめることをねらいます。「心にじいんときた」理由を膨らませるために、その場面の前後の登場人物の言動から想像したことをふき出しに書きためていくようにします。本時では、強く心に残ったところの登場人物の言動に着目して読み、スーホや白馬が相手に言ったことを想像してふき出しに書き、交流する学習を行います。</p>	鎌田 陽子
3年 1組	<p>心に残ったことを「のこったのこったシート」で表そう 「モチモチの木」他 斎藤隆介作品</p> <p>物語を読んで心に残ったことを「のこったのこったシート」で表すために、登場人物の人柄や気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けながら想像して読むことをねらいます。心に残ったところを言葉で表す際に、複数の叙述や複数の場面を取り上げ、結び付けながらまとめができるようになります。本時では、自分が心に残ったところを、本のページをめくりながら友達に示し、そのわけを話したり書いたりできるようにします。</p>	井上 正和
4年 2組	<p>作品の「不思議」を探りながら読み、自分が考えたことを伝え合おう 「初雪のふる日」他 安房直子作品</p> <p>作品の「不思議」を探りながら読むために、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像しながら読むことをねらいます。そこで、読書会を位置付け、お互いの作品に対する考えを交流することにより、疑問に思っていたことをはっきりさせたり、新たな読みに気付いたりできるようになります。本時では、「初雪のふる日」を読んで考えた疑問を、他の安房直子の作品を読んで考えたこととつなげて読むようにします。</p>	清水 一希
5年 2組	<p>事例と意見の関係をおさえて自分の考えをまとめ、交流しよう 「想像力のスイッチを入れよう」 他 メディアから発信される情報について書かれた図書</p> <p>事実と感想、意見との関係を押さえて、自分の考えを明確にして読むとともに、「意見カード」を基に自分の考えをまとめ、交流することをねらいます。そこで、筆者の述べていることを自分の知識や経験などと関係付けながら読んだり、複数の資料からの情報を関係付けたりしながら、自分の考えをまとめていくようにします。本時では、交流会に向けて、自分の考えをはっきりさせたり、自分の考えの根拠となる資料を決めたりできるようにします。</p>	菊池 良輔

	<p>理想的な未来の暮らしについて筆者の考え方と自分の考え方を比べ、「ハッピーライフリーフレット」を使って提言しよう 「自然に学ぶ暮らし」他 地球や人間の未来について書かれた図書</p> <p>6年 1組</p> <p>事実と感想・意見などの関係を押さえながら文章の内容を的確に捉えながら読み、自分の考えを明確にした上で提言することをねらいます。そこで、理想的な未来の暮らしについて筆者の考え方と自分の考え方を比べ、リーフレットを使って提言する言語活動を位置付けます。提言するためには、提言の理由を明らかにしなければなりません。そこで、根拠となる事例を並行読書材から見つけるようにします。本時では、より説得力のある提言文にするために、根拠に挙げる事例が適切かどうかを話し合い、決定していきます。</p>	
--	---	--

弓削 洋美



5. 学年部会

低学年部会 指導助言 山本早苗 特別訪問指導員

めざす子ども像

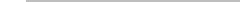
順序立てて考えたり、想像したりして内容の大体を捉えながら読み、自分の思いや考えをはつきりさせて表現する子ども



中学年部会 指導助言 天野聖子 研修指導主事

めざす子ども像

目的を意識して、段落相互の関係を考えたり、想像したりしながら読み、内容の中心を明確にして、筋道を立てて表現する子ども



高学年部会 指導助言 栗本浩行 首席指導主事

めざす子ども像

目的や意図に応じて、内容や要旨を把握したり、論の進め方や表現の効果などを考えたりしながら読み、話の内容が明確になるように、既存の知識や理解した内容と結び付けて自分の考えを表現する子ども

6. 全体会

○挨 拶 京都市立朱雀第七小学校 校 長 鵜飼 洋子

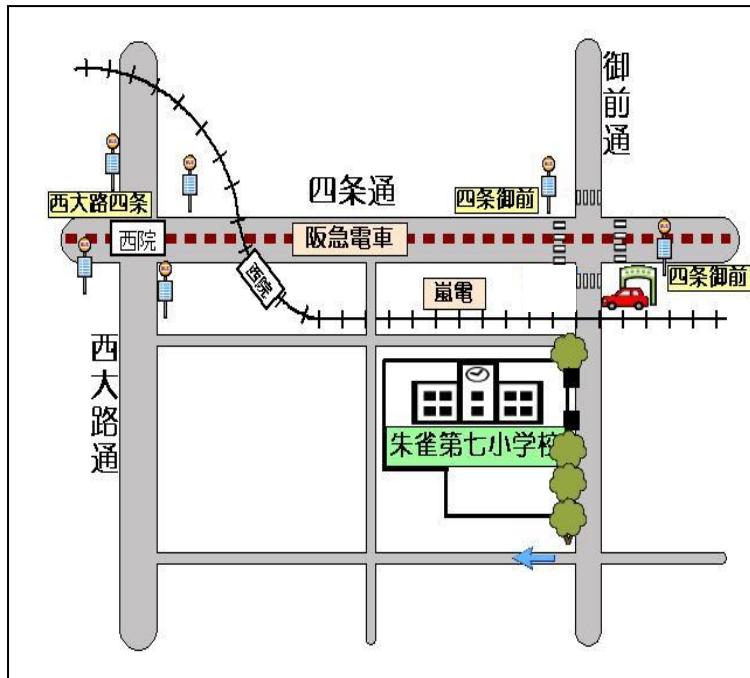
○講 演 「質の高い言語活動を位置付けた国語科の授業づくり」

京都女子大学 発達教育学部 教授 水戸部 修治氏

(前文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官)

新学習指導要領が平成29年3月に公示され、各教科等の解説編もすでに出ています。2年後の全面実施に向けて、今年度より移行措置期間となっています。新学習指導要領「国語科」において育成をめざす資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」とするとともに、国語科が言語活動を通して資質・能力を育成する教科であることが強調されています。このことは、今回まったく新しく出てきたことではありません。しかし、再び強調されているという点から、これから国語科授業で大切にすることを今考え直す必要があるでしょう。新学習指導要領の作成にも関わってこられた水戸部修治先生をお招きし、たくさん教えていただきたいと思っています。

7. 学校周辺地図



<アクセス>

- ・阪急 西院駅下車
東へ徒歩 約 5分
- ・嵐電 西院駅下車
東へ徒歩 約 5分
- ・市バス「四条御前通」下車
南へ徒歩 約 2分

8. その他

- ・本校の、駐車スペースは限られています。なるべく、公共の交通機関をご利用ください。
(お車でお越しの場合は、あらかじめ連絡いただけますと幸いです。)
- ・不明な点などございましたら、本校 教頭 山下博典 までお問い合わせください。

TEL (075) 311-0307

9. 申し込み

所属・お名前・職名・電話などを記入のうえ、電子メールにてお申込みください。

1月15日（火）までにお願いします。

E-mail suzakudai7-s@edu.city.kyoto.jp

-----切り取り線-----

京都市立朱雀第七小学校 研究発表会 参加申込書

所属		
所在地	〒	
電話		FAX
メールアドレス		
職名	氏名	希望部会
		() 学年部